

令和2年度シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史 B	学科 学年 類型	普通科・フロンティア科 3年・2年 文Ⅰ・文Ⅱ・理系	単位数	3年・4単位 2年・3単位
----	------	----	-------	----------------	----------------------------------	-----	------------------

1. 科目の目的

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 教科書

『詳説日本史』（山川出版）

3. 副教材

『新詳日本史』（浜島書店）[3年・2年]

『ステップアップ日本史』（啓隆社）[3年・2年]

4. 具体的学習方法（アドバイス、課題、小テストなど）

- (1) 予習・復習は大事である。だが、本校の日本史 B において最も大事なのは授業を通じて「歴史的思考力」を培うことである。自らの疑問に真摯に向き合い、問題を解決していく姿勢が大切である。
- (2) 歴史を語り記述するということは、究極にはその人の歴史事象に対する「解釈」を披露することに他ならない。人物名や事件名、年号といった“単語”は「解釈」という文章の構成要素に過ぎないのだから、覚えることで満足してはいけない。

5. 各テストと取り組み

- (1) 定期テスト・・・ 授業で学習した内容について、基礎・基本が理解できているかを問う。
教科書や授業内容（板書ノート・授業プリント等の復習を綿密に行うとともに、副教材の『ステップアップ』を利用して確認を行うこと。
- (2) 実力テスト・・・ 同上。ただし範囲指定はなく、難易度も高くなるので、計画的な復習を求める。
- (3) 課題テスト・・・ 課題に準じた問題を問う。なお、課題テストの結果も評価に加える。
- (4) 対外模擬試験・・・ 2年秋以降数回実施される。いずれも授業内容の理解が基本となる。
- (5) 小テスト・・・ 教科担任の判断による

6. 成績評価

- (1) 3年生については、定期テスト 70%、平常点 30%の割合で評点を算出する。平常点は授業への取り組みの度合いについて、発問への受け答えや小テストの成績、課題の取り組み方や提出状況、そして出席状況を総合的に評価して算出する。
- (2) 2年生については、定期テスト 80%、平常点 20%の割合で評点を算出する。平常点は、授業への取組みの度合いについて、発問への受け答えや小テスト等の成績、課題の取組み方や提出状況、そして出席状況を総合的に評価して算出する。